

2022年8月28日

取引先各位

東京都港区元麻布三丁目4番41号
株式会社アップライツ
代表取締役 山田公平

株式会社オウケイウェイブとの資本関係解消のご報告

当社は、下記の通り、本日付にて、株式会社オウケイウェイブ（以下、「OKWAVE」といいます。）との資本関係、並びに、業務上の一切の取引関係を解消いたしましたので、ご報告いたします。但し、株式会社オウケイウェイブにおける各種疑義の調査、並びに、資本関係を有していた期間についての監査手続き等については、弁護士経由での対応となりますが今後とも積極的に協力してまいります。

記

1. 資本関係の解消

当社は、OKWAVEのCVCであるOKFUND L.P.（以下、「OKFUND」といいます。）との間で2022年8月2日付締結された株式譲渡契約書に基づき、OKFUNDが2022年8月2日時点で保有する全株式（普通株式333,333株）を2022年8月28日付で買取り、OKFUND、並びに、OKFUNDを通じたOKWAVEとの資本関係の一切を解消いたしました。同時に、後述のとおり出資の受入当初より問題となっておりました2件の海外預け金債権（以下、「海外預け金」といいます）の全額について、OKFUNDに前記株式譲渡の対価として2022年8月2日付全部譲渡しましたので併せてご報告いたします。なお、海外預け金は当初よりOKWAVE並びにOKFUNDの実質的管轄下にあり、OKFUNDより紹介・指定された海外預け先に預けた上、一部を除いて海外預け先への指示の大部分がOKWAVE又はOKFUNDより直接行われておりますので、海外預け金のOKFUNDへの全部譲渡による当社の経営への影響はありません。

2. 今後の対応方針

当社は、OKWAVE、並びに、OKFUNDとの間において、今後一切の取引をいたしません。一方で、前述のとおり、OKWAVEにおける各種疑義の調査、並びに、資本関係を有していた期間についての監査手続き等については今後とも積極的に協力してまいります。ですので、下記のとおり代理人弁護士を選任し、下記弁護士を通じて情報の提供を行なってまいります。

東京都千代田区麴町3丁目5番2号 BUREX麴町507
川戸淳一郎法律事務所
弁護士 川戸淳一郎

3. 経緯

当社は、2021年12月15日付、OKWAVE並びにOKFUNDとの間で投資契約書を締結し、OKFUNDが当社の第三者割当増資を引き受ける形で、当社の筆頭株主となりました。発行株式は333,333株、1株の金額は金3,000円、出資総額は金999,999,000円となります。

また、同日、OKWAVE並びにOKFUNDより指定されたARCH PROJECT LIMITED社、並びに、WCC SOLUTION PTE.LTDとの間でLOAN AGREEMENTを締結し、総額金815,000,000円を海外預け金としました。契約にあたってはOKWAVE並びにOKFUNDが契約書面等を作成、先方と調整し、その指示に従って契約、当初より一貫して海外預け金はOKWAVE並びにOKFUNDの管轄下にあったことから、当社の資産でありながら当社の権限の及ぶものではなかったため、2021年12月17日付送金記録以降の具体的な資金の流れ、残高、用途については、その正確なところを当社で把握しておらず、また預け先の2社との間でも、情報を開示頂ける関係にありません。その後、当社業績伸長により多忙を極めていたこともあり、本件について当社がその推移を注視することはありませんでした。

2022年4月18日、16時より当社取締役会の開催を予定しておりましたが、当日になって福田取締役並びに野崎監査役からの理由の開示の無い欠席連絡がありました。のちに、翌日になって、通称レイジングブル事件への対応のためと判明いたしました。翌4月19日の18時より、OKWAVE代表取締役を兼任する福田取締役より、通称レイジングブル事件についての説明と、OKWAVEが経営難に陥る可能性の説明、今後自身が引責辞任になるであろうことについての説明がありました。当社としては、早急な対応策の提示、OKWAVEと当社との間の関係の見直しなど、具体的な提案を求め、2022年6月末までという具体的な期限を区切って事態の解決を図るよう強く要請をしましたが、当該時点において明確な回答は得られませんでした。なお、通称レイジングブル事件についての説明については、公知の内容の範囲にとどまり、公開されていない経緯や事情等が説明されたものではありません。

以降、OKWAVE社の応答は著しく遅延することとなり、通称レイジングブル事件への対応等を考慮しても当社の経営に大きな悪影響が予想されたため、当社顧問弁護士にも相談の上、2022年6月1日付、2022年6月末までに事態の解決がなされない場合には、資本関係を解消したい旨、改めて通知いたしました。重ねて、2022年6月16日付OKWAVE秦信行監査役宛て現状の報告を行なうと共に、2022年8月16日付茂木政昭監査役宛て、海外預け金の詳細な経緯を含めた報告と、対応へのアドバイスを求めています。

以上の経緯を踏まえて、当社は、2022年8月2日付OKFUNDとの間で、海外預け金の全部を対価として、OKFUNDの保有する株式の全部を当社が買取り、OKFUNDを通じたOKWAVEとの資本関係を解消することで合意し、株式譲渡契約書を締結いたしました。その後、OKWAVE決算短信の発表と、OKWAVE監査役への報告を経て、8月25日に当社取締役会を開催して決議し、本日の当社株主総会にて正式にOKFUND並びにOKFUNDを通じたOKWAVEとの資本関係を解消した次第です。

最後に、2022年8月3日に開催された当社取締役会において、福田取締役並びに野崎監査役より、OKWAVEが当社から7,000万円を借り受けたい旨の申し入れがあり、お断りしたこと、並びに、福田取締役より2022年8月25日午前3時頃、当社宛て辞任届が提出されましたことを申し添えます。

4. 総括並びに謝辞

当社は、今回の一連の騒動において、一定の責任を負っていることを強く認識しております。

具体的には、当初、上場会社であるOKWAVEから出資を頂けるとの話に舞い上がり、ほとんどデューデリジェンスや契約条件の検討を行なわないまま言われるがままに契約し、指示に従って不明瞭な取引に利用されてしまったことは、慙愧の念に堪えません。

その後においても、金融のプロであるOKWAVEやOKFUNDの皆さんにお任せしておけば大事はないだろうとの根拠の薄弱な考えに基づいて対応が遅れ、当社のその余の株主の皆様をはじめ、取引先、関係先にご迷惑をお掛けしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

当社は、OKWAVE並びにOKFUNDとの関係解消、並びに、今後一切の取引を拒絶する旨を重ねてここに表明し、今後の本業での成長、並びに、社内体制の強化、取引先の皆様への還元をもって、その責任を負ってまいりたい所存です。

今後ともご指導ご鞭撻のほどお願いし、重ねてお詫び申し上げます。

以上